

平成24年3月26日

物価統計室

## 平成22年基準指数と平成17年基準指数の比較

## 1 新基準と旧基準の差

(1) 平成23年の全国の総合指数の前年比は、平成22年基準指数(以下「新指数」という。)では0.3%の下落、平成17年基準指数(以下「旧指数」という。)では0.3%の上昇となり、新指数と旧指数では-0.6ポイントの差が生じた。

表1 新基準指数と旧基準指数による前年比の差(全国・総合)

	新基準	旧基準	差
平成8年の前年比	0.1% (平成7年基準)	0.3% (平成2年基準)	-0.2
平成13年の前年比	-0.7% (平成12年基準)	-0.5% (平成7年基準)	-0.2
平成18年の前年比	0.3% (平成17年基準)	0.7% (平成12年基準)	-0.4
平成23年の前年比	-0.3% (平成22年基準)	0.3% (平成17年基準)	-0.6

(2) 平成23年において、新旧指数の前年比の差に影響を及ぼした主な品目は、以下のとおりである。

## テレビ

	前年比(%)	総合に対する比率(前年指数)	ウェイト(1万分比)
新指数	-30.9	100.0/100.0 = 1	97
旧指数	-31.3	22.4/99.6 = 0.2249	37

寄与度
-0.30
-0.03

新指数は旧指数の約4倍  
(指数のリセット)

新指数は旧指数の約3倍  
(エコポイント、地上デジタル放送移行)

下落の寄与度が拡大  
寄与度の差 -0.27

## たばこ(国産品)

	前年比(%)	総合に対する比率(前年指数)	ウェイト(1万分比)
新指数	26.8	100.0/100.0 = 1	32
旧指数	26.6	120.1/99.6 = 1.2058	48

寄与度
0.08
0.15

新指数は旧指数の約0.8倍  
(指数のリセット)

新指数は旧指数の約0.7倍

上昇の寄与度が縮小  
寄与度の差 -0.07

## ビデオレコーダー

	前年比(%)	総合に対する比率(前年指数)	ウェイト(1万分比)
新指数	-40.0	100.0/100.0 = 1	13
旧指数	-39.3	29.8/99.6 = 0.2992	10

寄与度
-0.05
-0.01

新指数は旧指数の約3倍  
(指数のリセット)

新指数は旧指数の1.3倍  
(地上デジタル放送移行)

下落の寄与度が拡大  
寄与度の差 -0.04

## パソコン（ノート型）

	前年比(%)	総合に対する比率（前年指数）	ウエイト(1万分比)
新指数	- 24.0	100.0/100.0 = 1	20
旧指数	- 24.0	12.5/99.6 = 0.1255	21

寄与度
- 0.05
- 0.01

新指数は旧指数の約 8 倍  
（指数のリセット）

下落の寄与度が拡大  
寄与度の差 - 0.04

## 灯油

	前年比(%)	総合に対する比率（前年指数）	ウエイト(1万分比)
新指数	18.4	100.0/100.0 = 1	50
旧指数	18.1	124.6/99.6 = 1.2510	53

寄与度
0.09
0.12

新指数は旧指数の約 0.8 倍  
（指数のリセット）

上昇の寄与度が縮小  
寄与度の差 - 0.03

### （寄与度の計算式）

$$\text{品目 A の総合指数の前年比に対する寄与度} = \text{A の前年比} \times \frac{\text{A の前年指数}}{\text{総合の前年指数}} \times \frac{\text{A のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}$$

## 2 パーシェ・チェック

今回の消費者物価指数の基準改定にあたり、平成 17 年から 22 年にかけて、総合指数の算出に用いるバスケット（消費構造）の参照年の違いによる総合指数の差を検証するため、バスケットの参照年を 17 年にしたラスパイレス指数（17 年基準指数）と、バスケットの参照年を 22 年にしたパーシェ指数との差率をみるパーシェ・チェックを行った。

表 2 パーシェ・チェック（全国・持家の帰属家賃を除く総合）

	ラスパイレス 指数（L）	パーシェ 指数（P）	パーシェ・チェック $\left(\frac{P - L}{L}\right)$
平成 7 年（平成 2 年基準）	106.4	106.2	- 0.2
平成 12 年（平成 7 年基準）	101.0	99.9	- 1.1
平成 17 年（平成 12 年基準）	97.3	94.9	- 2.5
平成 22 年（平成 17 年基準）	99.7	93.1	- 6.6